

## 学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
家庭	家庭総合	1	2	「家庭総合」 堀内かおる ほか33名（実教出版）	
指導の重点	<ol style="list-style-type: none"> <li>人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。</li> <li>家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</li> <li>さまざまな人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</li> </ol>				
評価の観点	知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。			
	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考案したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。			
	主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。			
学習の評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>定期考査、確認テスト、授業プリント、実習作品で「知識・理解」、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>授業中のグループ活動、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>授業プリント、レポートの記入状況で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。</li> </ol>				
学期	単元	学習内容	学習の目標		
1 学期	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の選択から管理まで</li> <li>持続可能な衣生活をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を立てることができる。</li> <li>洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、適切な選択や保管ができる。</li> <li>環境に配慮した衣生活について学び、自分たちができることを考えることができる。</li> </ul>		
	自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>共に生きる家族</li> <li>家族に関する法律</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。</li> <li>時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題を理解する。</li> <li>家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。</li> <li>法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する。</li> </ul>		
	高齢者とのかかわる	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会に生きる</li> <li>高齢者を知る</li> <li>高齢者の自立を支える</li> <li>高齢社会を支えるしくみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえることができる。</li> <li>高齢者の心身の特徴や生活を理解する。</li> <li>高齢者と家族のかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活について考えることができる。</li> <li>基礎的な日常生活の介助の方法について理解する。</li> <li>高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解する。</li> </ul>		
2 学期	ホームプロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の生活時間や、衣食住に関すること、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探ることができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。</li> <li>生活課題の解決に向けて、資料を集めたり、文献を調べたりすることができる。</li> </ul>		
	消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスタイルと環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につける。</li> <li>消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断できる。</li> </ul>		
	食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と食物とのかかわり</li> <li>私たちの食生活</li> <li>栄養と食品のかかわり</li> <li>食品の選び方と安全</li> <li>食事の計画と調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の意義や役割について理解する。</li> <li>地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて、情報を収集して調査内容をまとめることができる。</li> <li>栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての知識を身に付ける。</li> <li>食品衛生について理解する。</li> <li>食生活(食料自給率、食品ロス等)における課題と解決方法について考えをまとめることができる。</li> <li>調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができる。</li> <li>栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、家族の献立を作成することができる。</li> </ul>		
3 学期	社会とかかわる	<ul style="list-style-type: none"> <li>支え合って生きる</li> <li>共生社会を生きる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会福祉制度のしくみについて理解する。</li> <li>ボランティア活動の意義を理解し、地域の福祉について調査などを行い、社会において自分のできることは何かを考えることができる。</li> <li>社会福祉、社会保障制度のしくみについて、生活課題と関連させながら考えることができる。</li> <li>支え合う社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。</li> </ul>		